

大阪府支援教育研究会と大阪府教育委員会、大阪府教育センターとの懇談会

2月10日(水)に大阪府支援教育研究会と大阪府教育委員会、大阪府教育センターとの懇談会が行われました。今回は、教育委員会と教育センターから7名、大支援研から16名(本部役員、支部長、行事部員)の23名の参加でした。大支援研の21年度の活動報告後、「大阪府における支援教育の現状と課題」というテーマで懇談会を持ちました。平成21年1月に発表された『大阪の教育力』向上プランが進む中、支援教育の現状と課題について大きく4つに分けて、意見交流しました。

① 「一人ひとりのニーズに応じた支援教育の充実について」 ……

個別の教育支援計画 作成状況の中味や望まれる活用法は
通級教室 どのような子どもが所属すると想定されているか
リーディングスタッフ 地域ネットワーク 充実した活用状況が維持できるか

「大阪の教育力向上」プラン <http://www.pref.osaka.jp/kyoisomu/plan/index.html>

② 「地域における支援教育推進体制の整備について」

講師派遣 合同研究会 地域連携協議会
各地区・広域のリーディングスタッフと地域支援
支援学校のセンター的役割

③ 「共生推進教室、府立支援学校の充実について」 ……

リーフレット「高等学校におけるともに学び、ともに育つ教育の推進」

<http://www.pref.osaka.jp/shienkyoiku/jiritsu-kyousei/tomonimanabi.html>

府立支援学校施設整備基本方針

<http://www.pref.osaka.jp/shienkyoiku/shiengakouseibi/index.html>

④ 「教職員研修活動の推進と大支援研が進める研修のあり方について」

短い時間でしたが、たくさんの参加者が現場の思いや考え、工夫などを発言する機会があり、有意義な懇談会を行うことができました。

